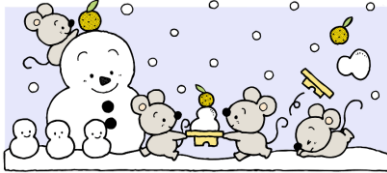




やまもと

横浜国立山元小学校
校長 石田 薫

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子



新しい時代へ

校長 石田 薫

新年明けましておめでとうございます。令和3年丑年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は多岐にわたり、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、様々なことがあった令和2年でしたが、暮れの数日間、土星と木星が最接近するというニュースがあり、夕刻時に職員で見ることができました。前回、両星がこれほど最接近したのは、約400年前、日本では江戸初期、徳川家光が三代將軍になった頃で、ヨーロッパでは物理学者・天文学者のガリレオ・ガリレイが活躍していた時代です。当時は太陽や星は、地球の周りを周っていると考えられており、地球が太陽の周りを周っていると唱えたガリレオは宗教裁判にかけられ、地動説を唱えることができない時代でした。地動説が受け入れられたのは、17世紀で長い年月を要しました。そして、ロケットを飛ばして人類の目で地球を外から確認したのは20世紀になってからです。そう考えると私たちが今見えていることは、今までの固定観念にとらわれていることが意外に多くあるのではないかと考えさせられます。SARSやMARSの世界的な流行でも日本国内には感染者が出ず、日本の衛生観念や防疫体制の高さが感染を防いだように思っていたのですが、今回の新型コロナウイルスの流行は、その考えを一蹴するものでした。

しかし、それまでの考え方や固定観念に疑問をもつことにより、新しい発想が生み出され、社会の仕組みが変わっていくことも事実です。

新型コロナウイルスの流行をきっかけとして、GIGAスクール構想が一気に進み児童一人ひとりが端末を持つこととなります。(使用開始は、来年度の予定です。) ネットを使い世界中の人たちとつながることも可能となります。教科書やノート、配布物等が紙でなくなる時代もすぐそこまで来ています。4月に入学する1年生から35人学級も始まる見込みです。

新たな発想、価値観による新しい時代に、より柔軟に対応できるのは、子ども達ですが、我々も適応するため学び続けていかなければなりません。今まで培ってきた豊かな人間性

の育成を教育の基軸としながら取り組んでいきます。

また、緊急事態宣言が7日に正式決定される模様です。教育活動が更に制限される可能性もありますが、児童の安全を第一に考え、ガイドラインに従って可能な限り子ども達が、対話や体験を通して主体的に学ぶことができるよう授業を進めてまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。
